

## 「奈良山岳自然ガイド協会」設立趣意書

登山人口は約 850～1000 万人と推計され、今後も拡大傾向にあり、その牽引役は健康増進を目的に山に登る中高年層のほか、近年は女性を中心とする若年層も増加を続け、富士山の世界遺産登録などを契機として登山が脚光を浴びつつあります。しかし一方で、未組織登山者による遭難事故も多発しており、これらの未組織登山者に対する啓蒙、研修、事故対策のための環境整備等（登山道や道標整備）が課題となっています。

また一方で、より高度な山岳・登山活動だけでなく、旅行・観光業の分野からハイキングツアー、エコツアー、自然探訪などのニーズが拡大の傾向にあり、より知的な自然に親しみ、自然を体験するアウトドアなどの動きも活発化するなど、山を中心とする自然への高まりが一層、進むものと予測され、こうした活動への適切な啓蒙、指導等の必要性が高まっています。

奈良県は県面積の 70%以上が山岳地域であり、鬱蒼とした原生林に覆われた山々は、他地域や日本アルプス等とは異なる得意な地形、山容、歴史を秘めており、中でも大峰山系の山々は、神々の宿る場所として、古くから信仰を集め、修験道の聖地として今日まで脈々と受け継がれてきました。2004 年 7 月には吉野から大峯山寺、玉置神社を経て熊野本宮大社に至る「大峯奥駈道」や「熊野参詣道小辺路」が「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部としてユネスコ世界遺産に登録され、国内はもとより外国の人々にも注目を集めています。

私たちは、この世界に誇りうる遺産を保全し、千年先、二千年先へと引き継いでいくことを使命として地域の人たちとともに自然環境保全を優先する持続可能な利用への誘導を責務として活動していかねばなりません。また、山を巡って新しい決定もなされました。平成 28 年 8 月 11 日より国民の祝日「山の日」が制定されます。国民の祝日として山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝することが趣旨であり、山の日制定を機に山の魅力や価値を幅広く啓蒙し、山岳県奈良の新しい県づくり、地域づくりに活用することも私たちに求められています。

このような山や自然を取り巻く社会の動向は、環境保全の推進とともに、自然公園の適切な利用の指導者としての山岳ガイドや自然ガイドと呼ばれる、より安全性と専門性を保持するスペシャリストの必要性も高まり、こうした人材の育成が急務となっていますが、とくに世界遺産地域においては、外国人旅行者が飛躍的に増加することが予測され、これらインバウンド対応としての山岳自然ガイドの育成が急がれます。

現状は、山岳ガイドとして（公社）日本山岳ガイド協会の資格認定を受けた公認ガイドの活動がありますがその業務的性格上、個による活動にとどまっており、増加する様々な山と自然への社会的な要請や地域振興の視点に応える組織的活動とはなっていません。こうした人材の養成を図りつつ、地域課題に即応する協会の必要性は高いものがあります。

山岳・自然ガイドは山や自然探訪を志す顧客の経験的、技術的、精神的な支えであり、

人々の生命を預かる職業でもあります。よって常により安全を心がけ、自己の技術、体力及び人格の向上に努めなければならず、これらの活動を団体として支援、育成強化を図るほか、次のような事業を構想しており、山や自然を対象として地域の振興に努めたいと念願しています。

- 1) 山岳・自然ガイドの技術の普及研究、研修の実施など人材育成を図る事業
- 2) 地域・行政・施設・管理運営団体・環境保全団体等との交流・連携・自主事業
- 3) 自然観察会・トレッキングツアー・地域 PR のシンポジウム等の各種普及事業
- 4) 自然保護、登山道及び登山環境整備事業のほか、奈良県内の豊かな自然環境をアピールするための各種活動
- 5) 山岳自然ガイドの派遣並びに普及啓発事業
- 6) その他、本協会の目的達成に必要な事業

前述したようにわが奈良県は、世界に二つしかない世界遺産の道の一つとして国内はもとより世界から注目される「紀伊山地の霊場と参詣道」や豊かな自然と文化が共存する奥吉野、宇陀の地域など新しいニューツーリズムとしての展開が期待される地域です。

私たちは、単に地域を案内するというガイドのみのニーズを具現化するのではなく、このような社会の動向や期待を地域として受け止め、地域と共に新しいツーリズム産業として育成、開発していくことを目標に活動したいと考えています。単に自然を歩くだけではなく、過去から継承されてきた様々な文化や生活の資源など地域固有の情報を発信し、魅力を訴えることによってより多くのビジターが増え、結果として様々なニーズが具現化されます。それこそが、「山岳県」奈良県の山間地域の新しい地域振興政策ともいえ、地域の資源を活用してビジターを創出し、山に生き、暮らしを支える村々の新しいネイチャービジネス創出に貢献することこそ本協会の使命と感じ、そのためのささやかな牽引を果たせることも目的の一つとして活動を進めて参ります。

平成 27 年 2 月 3 日

奈良山岳自然ガイド協会

発起人代表 岩本 泉治(NPO 法人森と人のネットワーク・奈良)

発起人 今西 芳民(十津川鼓動の会々長)

同 内炭 孝夫((株)内炭登山ガイド企画)

同 小島 誠孝(山岳写真家)

同 佐々木 健(奈良山岳会副会長)

同 辻谷 達雄(川上村源流塾長)

同 西岡 満(天川村、自然公園指導員)

同 浜矢 洋一(奈良山岳会)

同 南元 延彦(日本山岳ガイド協会 公認ガイド)

(あいうえお順)